

## 1成分形シリコン系弾性シーリング材

# ボンド シリコンコーク

防カビ剤入り

「ボンド シリコンコーク〈防カビ剤入り〉」は、ジメチルポリシロキサンを主成分とするオキシム型、湿気硬化型の1成分形シリコン系弾性シーリング材です。弾性シーリング材の中で最も耐久性に優れ、数多くの特長を備えています。

JSIA F★★★★ 認定番号003048

### ■用途

- 浴室、洗面所、台所など水まわりのシール
  - ガラス間およびガラスまわり目地のシール
  - 内装タイル目地のシール
  - 金属屋根、ハゼ継目、重ね部のシール
  - 配管取付け部やダクトまわりのシール
  - 耐熱、耐寒、耐水性を要する目地のシール
- ※防カビ剤入りのため、魚類などの飼育用水槽や飲料用水槽には使用できません。
- ※上水道の給水用塩ビ管には使用しないでください。
- ※動きの大きな目地には適しません。
- ※外装およびセメント系製品の目地には、「ボンド シールプライマー #7」を併用してください。
- ※本品の表面に、塗料は付着しません。
- ※EPT、クロロプレンなど一部の合成ゴム成型品、および合成ゴム系接着剤と接触させるとシーリング材が変色することがあります。あらかじめ確認の上、ご使用ください。
- ※石材、タイル、ホーロー、塗装パネルなどの目地に使用すると、目地周辺が汚れることがあります。十分に検討の上、ご使用ください。
- ※硬化時に密封状態になるような条件下では、銅腐食が発生する場合があります。ご注意ください。
- ※エアガンを使用する場合、0.3MPa (3kgf/cm<sup>2</sup>) 以下でご使用ください。
- ※SSG構法用には使用しないでください。

### ■特長

- カビの発生がすくなくいです。
- 耐候性に優れます。
- 硬化後は、耐熱および耐寒性に優れ、-40℃～+150℃の温度範囲での使用に耐えます。
- 耐薬品性に優れます。
- 低温時でも押し出し性に優れ、冬期でも硬化が速く作業性に優れています。
- 硬化後の肉やせがほとんどありません。
- 硬化後は、電気絶縁性が良好です。
- オキシム型で硬化時に酸を放出しません。酸で腐食しやすいコンクリート・モルタルなどの石灰質材料や、錆びやすい鉄および鋼などの金属類にも使用できます。
- 1液型で作業性に優れ、豊富な基本色から下地に合った色を選ぶことができます。

### ■性状・性能

(JIS A 5758およびJIS A 1439に基づく試験結果)

ボンド シーリング材		シリコン系										
シリコンコーク		シリコンコーク										
項目	外観	ペースト状										
ク	ラス	G-20LM, G-30SLM										
ス	ラン プ (50℃、mm)	縦	0									
		横	0									
弾	性 復 元 率 (%)	94										
引	張 応 力 (N/mm <sup>2</sup> )	23℃	0.3									
		-20℃	0.3									
定	伸 長 下 での 接 着 性	23℃	破壊なし									
		-20℃	破壊なし									
圧	縮 加 熱 ・ 引 張 冷 却 後 の 接 着 性	破壊なし										
水	浸 せ ぎ 後 の 定 伸 長 下 での 接 着 性	破壊なし										
体	積 損 失 (%)	4.3										
耐	久 性	9030G										
タ	ック フ リ ー (時間)	5℃	1									
		23℃	0.1									
比	重	1.03										
押	し 出 し 性 (秒)	5℃	4									
		23℃	3									
被	着 体	条 件	応 力 ・ 伸 び	50%	最大	最大荷重						
				引張	引張	時の伸び						
		アル	ミ	ニ	ウ	ム	板	養 生 後	23℃	0.31	0.56	200
								-10℃	0.32	0.72	281	
				加	熱	後	23℃	0.28	0.53	233		
							-10℃	0.27	0.72	291		
				水	浸	せ	ぎ	後	23℃	0.29	0.51	197
									23℃	0.29	0.50	172
		モ	ル	タル	板	養 生 後	23℃	0.31	0.50	172		
						-10℃	0.29	0.72	277			
				加	熱	後	23℃	0.27	0.51	207		
							-10℃	0.29	0.73	310		
水	浸			せ	ぎ	後	23℃	0.31	0.54	174		
							23℃	0.29	0.50	183		
ガ	ラ	ス	板	養 生 後	23℃	0.29	0.50	183				
				-10℃	0.30	0.73	277					
		加	熱	後	23℃	0.28	0.51	237				
					-10℃	0.29	0.72	328				
		水	浸	せ	ぎ	後	23℃	0.30	0.52	193		
							23℃	0.30	0.52	193		
内	部 硬 化 (日)	5℃	7									
	[5mm厚 完全硬化]	23℃	3									

※表中の数値は標準値であり保証値ではありません。

### ■標準施工量

5mm×5mm目地 11~13m

■技術データ

1. 各種被着体(下地材)への接着性

被着体		接着性	
		プライマーなし	シールプライマー #7使用
金 属	アルミ素地	○	○
	アルマイトアルミ	○	○
	アクリル焼付アルミ	○	○
	ステンレス	△	○
	軟 鋼*1	○	○
	亜鉛鉄板*1	○	○
	銅*1	○	○
無機質材*7	塩ビ銅板	△	○
	ガラス	△	*4
	磁器タイル(表)	○	○
	”(裏)	○	○
	大理石	×	△
	御影石	○	○
	スレート	△	○
プラスチック*2	モルタル	△	○
	ALC	△	○
	スチロール	○	○
	アクリル*5	×	—
	塩ビ(硬質)*6	○	○
ゴ ム*2	”(軟質)	△	△
	FRP	○	○
	ABS	○	○
	CRゴム	×	△
木 材*3	天然ゴム	×	△
	NBRゴム	×	△
	ブチルゴム	×	△
木 材*3	チー ク	○	○
	合 板	○	○

- ：適する △：接着するが注意を要する ×：適さない  
 \*1：発錆に注意を要する。密閉室内で使用した場合、腐食することがあります。  
 \*2：表面の離型剤に注意を要する。プライマーの溶剤により侵されることがあるので注意を要する。  
 \*3：シーリング材およびゴムが変色することがあるため、接着性も含めて事前確認が必要である。  
 \*4：「ボンドシールプライマー #3」をご使用ください。  
 \*5：ストレスクラックが発生する可能性があるため、「アルコールタイプのシリコン系シーリング材」をご使用ください。  
 \*6：上水道の給水用塩ビ管、継ぎ手には使用しないでください。  
 \*7：プライマーの吸い込みに注意し、十分に塗布してください。

2. 耐薬品性

薬品名	評価
10% 硫 酸	○
10% 塩 酸	○
10% 酢 酸	△
10% 硝 酸	△
10%水酸化ナトリウム	○
10%アンモニア水	○

○：使用可 △：条件によって使用可 ×：使用不可  
 (試験方法)硬化した「ボンド シリコンコーク」のゴム状態試験体を室温(20℃)で一週間浸漬した後の体積変化を確認。

- 梱包容量 330mlカートリッジ入り  
 …20本(10本×2)入り / 1ケース  
 ■色 調 ホワイト、クリアー、アイボリー、  
 ダークアイボリー、ライトグレー

国際単位系(SI)による数値の換算は、1kgf=9.8N、1cP=1mPa・s、1kgf・cm=9.8×10<sup>-2</sup>J、1MPa= 1N/mm<sup>2</sup>です。  
 1N/mm<sup>2</sup>は約10.2kgf/cm<sup>2</sup>に相当します。

本資料の技術情報、標準処方例は当社の試験、研究に基づいたもので、信頼しうるものと考えますが、記載の諸性能および諸特性などは、材料や使用条件などにより本資料と異なる結果を生ずることがあります。実際の諸性能、諸特性などについては、ご需要家各位で試験、研究ならびに検討の上、ご使用いただきますようお願いいたします。

**コニシ株式会社** <http://www.bond.co.jp/> 大阪本社 / 〒541-0045 大阪市中央区道修町1-7-1(北浜TNKビル) TEL06(6228)2931  
 東京本社 / 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-3(竹橋スクエア) TEL03(5259)5733

名古屋支店 TEL052(217)8622 仙台営業所 TEL022(211)5031 南関東営業所 TEL045(663)3184 広島営業所 TEL082(507)1911  
 福岡支店 TEL092(551)1762 北関東営業所 TEL027(324)3002 金沢営業所 TEL076(223)1565 高松営業所 TEL087(835)2020  
 札幌支店 TEL011(731)0351

JテS02-06

シリコンコーク(防カビ剤入り) 1999.6.6000(T)064-FD  
 2012.9. (T) -KK  
 2013.6. (T) -SK

3. カビ抵抗性

	初期	温水浸漬後	ウエザオメーター
シリコンコーク(防カビ剤入り)	3	3	3
”(防カビ剤無)	2	1	1
他社品A	3	2	2
他社品B	2	2	2
他社品C	2	1	2

※他社品A、B、Cは防カビタイプシーラントです。

試験方法

JIS Z 2911に準じ、シャーレ中のポテト観点培地上にシーラント硬化物を置き、カビ孢子懸濁液を吹きつけ28日養生後判定します。

上表中、初期……………室温硬化後判定

温水浸漬後…………… 70℃温水7日浸漬。その後試験

ウエザオメーター… ” ウエザオメーター200時間暴露。その後試験

試験用のカビ

アスペルギルス・ニゲル  
 ペニシリウム・シトリウム  
 リゾープス・ニグリカンス  
 クラドスポリウム・ヘルバルム  
 ケトミウム・グロボスム

判定の表示法

菌糸の発育	カビ抵抗性の表示
試験片または試験片の接触した部分に菌糸の発育が認められない。	3
試験片または試験片の接触した部分に認められる菌糸の発育部分の面積は、全面積の1/3を越えない。	2
試験片または試験片の接触した部分に認められる菌糸の発育部分の面積は、全面積の1/3を越える。	1

■注意事項

本品の取り扱いには、下記の注意事項を守ってください。

■安全・衛生上の注意

- 未硬化の本品は皮フ、粘膜を刺激するので、眼に入れたり、長時間皮フに付着させたままにしない。あやまって眼に入れた時には、ただちに流水で15分以上洗い流した後、医師の診察を受ける。また、皮フについた時にはすぐに乾いた布でふきとり、石ケンと水でよく洗い落とす。
- コンタクトレンズ着用者は、未硬化の本品をあやまって眼に入れた場合、コンタクトレンズが固着することがあるので、充分注意する。●本品は硬化時にメチルエチルケトオキシム(MEKO)を発生するので、使用中および使用後は、換気をよくする。不快を感じた時には、新鮮な空気のところへ移動すること。なお、最近このMEKOを長時間大量に吸入させる動物実験で、一部に障害を示すデータが報告されています。
- ※本品は一般工業用途向けに開発されたものです。医療用途など特殊用途へのご使用に際しては、事前にテストを行い、当該用途に使用することの安全を確認の上ご使用ください。なお、医療用インプラント製品には絶対に使用しないでください。

[シールプライマー]の取り扱いには、下記の注意事項も加えて守ってください。

引火性の液体です。有機溶剤中毒の恐れがあります。

皮フに付着したり蒸気を吸入すると、かぶれや中毒、その他の健康障害を起こす恐れがあります。

- 火気のある場所や、静電気の発生する場所では使用しない。●取り扱い作業場所には局所排気装置を設け、充分に換気する。●容器から出し入れする場合には、こぼれないように注意する。●容器からこぼれた場合には、砂などを散布した後処理する。●蒸気やガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受ける。●火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いる。(火気厳禁、第四類第一石油類、危険等級Ⅱ)

■保管上の注意

- 子供の手の届かない所に保管する。●直射日光を避け、温度が5~35℃の水や湿気の少ない涼しい場所で保管する。●開封後は原則として使いきるようにする。残ったときは完全密封して、湿気の少ない涼しい場所に保管する。

■廃棄上の注意

- 廃液は法令に従って処理すること。

※より詳細な情報はSDS(またはMSDS)をお読みください。

※本品は使用方法・使用条件によって本来の性能を発揮できない場合があります。事前に目的の用途に適合するか必ず確認の上、ご使用ください。

※本品は改良のため性状、性能を変更する場合があります。予めご了承くださいませようお願いいたします。

(記載の性状等は2013年5月現在のものです。不明の点はお問い合わせ願います。)